

# シラバス 技術・家庭科【技術分野】

|     |                  |     |      |
|-----|------------------|-----|------|
| 教科名 | 第3学年 技術・家庭科 技術分野 | 担当者 | 篠田 潤 |
|-----|------------------|-----|------|

## 【 学習到達目標 】

ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。

- ・ 生物の生育環境と育成技術について
  - ① 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知ること。
  - ② 生物育成に関する技術の適切な評価・活用について考えること。
- ・ 生物育成に関する技術を利用した栽培
  - ① 目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培ができること。
- ・ 情報通信ネットワークと情報モラルについて
  - ① コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知ること。
  - ② 情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知ること。
  - ③ 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えること。
  - ④ 情報に関する技術の適切な評価・活用について考えること。

## 【 学習方法やポイント 】

- ・ その時間の学習のねらい(到達目標)や課題をしっかりとって授業に取り組む。
- ・ 学習内容に関心をもち進んで発言・発表にも取り組む。
- ・ 制作する作品は、自分の生活の中で役に立つものをつくる。
- ・ 自分の生活や作品について、自分なりに工夫する。
- ・ 実習前の説明はしっかり聞き、わからないことがあれば説明後に必ず質問する。
- ・ 技能面では1つ1つの工程を丁寧に行う。
- ・ 提出物は期限を守って完成させ提出する。
- ・ 他の人の作品にも関心をもち、お互いに評価し合う。

## 【 年間学習計画表 】

| 学期          | 単元・題材名               | 主な学習内容  | 学習のねらい   |
|-------------|----------------------|---|--|
| 1<br>学<br>期 | コンピュータと情報通信ネットワークの活用 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータの仕組みを知ろう</li> <li>・ パワーポイントを利用してプレゼンテーションを作ろう</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ コンピュータに共通する機能を説明できる。</li> <li>・ 文字には様々なフォントがあることを知る。</li> <li>・ パワーポイントを用いてスライドを作ることができる。</li> <li>・ 画像を保存し適切に挿入することができる。</li> <li>・ 文字や画像にアニメーションを付与することができる。</li> <li>・ 発表に強弱をつけるために画面切り替えを付与することができる。</li> <li>・ 実際に作った作品を発表することができる。</li> </ul> |

|             |  |   |   |
|-------------|--|---|---|
|             | <p>生物を育てる技術の特徴</p> <p>生物を育てるための計画と管理</p> <p>生物を育てる技術の評価・活用</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人・生物・環境のかかわりについて知ろう</li> <li>・(レポート) 食べ物それぞれの旬</li> <li>・製作時期・方法を調べる</li> <li>・植物および動物を育てる技術を知ろう</li> <li>・生物の育成計画を立てよう (実習) マリーゴールドの栽培</li> <li>・生物を育てる技術とわたしたちのかかわりを考えよう</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生物を育てる目的を知る。</li> <li>・生物を育てる技術とは何かを考えることができる。</li> <li>・植物を育てるための管理技術および動物を健康に育てるための管理技術を知る。</li> <li>・植物が育つ環境条件を調節する技術を知る。</li> <li>・家畜としての動物の利用と飼育する技術を知る。</li> <li>・生物を育てる目的を考えることができる。</li> <li>・生物の成長に合わせた育成計画を立てることができる。</li> <li>・生物を育てる技術が社会や環境に果たす役割について理解できる。</li> <li>・生物を育てる技術を適切に評価・活用しようと考えられる。</li> </ul> |
| 3<br>学<br>期 | 情報モラルについて知る  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権と知的財産権について知る。</li> <li>・日常生活と情報モラルについて考えよう</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・著作権や知的財産権が守られ製作物や音楽などが流通していることを知る。</li> <li>・何気ない日常生活の中で権利が侵害されていることを知り、情報モラルについて考える。</li> </ul>  |

#### 【評価について】

##### ・知識・技能

実際の生活の場面で必要とされる基礎的な技術・知識が身に付いたかどうかを評価します。

主に、学習課程における知識・技能の習熟状況、完成した作品、定期テストにより多面的に評価します。

##### ・思考・判断・表現

習得した知識や技術を積極的に活用し、生活を工夫したり創造したりする能力を評価します。

主に、学習課程における思考・判断・表現の習熟状況、作品の提出や定期テストにより多面的に評価します。

##### ・主体的に学習に取り組む態度

積極的に取り組む意欲や態度などを重視して評価します。

主に作業や実習、毎時間の学習への取組状況、レポート、「知識・技能」、「思考・判断・表現」の評価項目から評価します。